

ID・パスワードを入力してください。

ID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

次へ >>

「介護職員の資質向上におけるスキル評価等の有効性に関する調査研究事業」

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート
ご協力をお願い

一般社団法人シルバーサービス振興会では、平成25年度厚生労働省老人保健増進等事業として、「介護職員の資質向上におけるスキル評価等の有効性に関する調査研究事業」を実施しております。

当振興会が実施機関として推進しております介護キャリア段位制度におきまして、現在、全47都道府県で、3,329名(2,191事業所・施設)のアセッサーが養成されています。また、昨年11月に、第1号のレベル認定者が誕生しました。介護人材の育成・確保を図るため、引き続き、本制度を推進している次第です。

そこで、貴事業所における介護技術評価による介護職員の能力評価状況、事業所・施設としての介護キャリア段位制度の取組み状況をお伺いし、事業所・施設における介護技術評価の介護職員資質向上の有効性の実態把握並びに制度取り入れの際の課題分析をいたしたく、ご協力をお願い申し上げます。

本調査票は、24年度並びに25年度における介護キャリア段位制度 評価者(アセッサー)講習を受講され、アセッサーとなりました方が所属されます事業所・施設の管理者を対象に実施させていただきます。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解頂き、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

記入にあたってのお願い

- このアンケートは、**事業所の管理者の方**にご回答いただきますようお願いいたします。
- ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。
 - ① 調査事業にのみ利用し、他の目的には一切利用いたしません。
 - ② 統計的に処理し、事業者名、個々の回答者等が特定できないように配慮いたします。
 - ③ 調査への拒否や、一部の調査項目への回答拒否があっても、そのことで不利益が生じることはございません。
 - ④ 調査結果は、報告書として公表されます。
- アンケートにつきましては、**平成26年2月21日(金)までに入力**ください。

本調査に関するお問い合わせ先:

一般社団法人 シルバーサービス振興会

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番33号NP御成門ビル6階

TEL:03-5402-4881 / FAX:03-5402-4884

担当: 柳澤: yanagisawa@espa.or.jp 中垣内: nakagaichi@espa.or.jp

次へ >>

★印の付いた質問は必須回答項目となっていますので、必ずお答えください。

A. 回答者属性（ご回答いただいている方の情報）並びに事業所職員数についてお伺いします。

※平成26年1月現在の状況をご記入ください。

★問A-1.

現在の年齢について、あてはまるものを1つ選んでください。（1つ選択）

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

★問A-2.

現在の役職について、あてはまるものを1つ選んでください。（1つ選択）

- 法人責任者
- 事業所管理者
- サービス提供責任者
- その他⇒具体的に()

★問A-3.

上記設問で回答した現役職の業務の経験年数について、年数を入力してください。（数値記入）

※「3年4か月」のような場合は、切り上げて「4年」としてください。

年

次へ >>

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  13%

★問A-4.

現在管理されている事業所の対象サービス種別について、あてはまるものすべて選んでください。(複数選択可)

- 介護老人福祉施設
- 介護老人保健施設
- 介護療養型医療施設
- 訪問介護
- 訪問入浴介護
- 通所介護
- 通所リハビリテーション
- 短期入所生活介護
- 短期入所療養介護
- 特定施設入居者生活介護
- 夜間対応型訪問介護
- 認知症対応型共同生活介護
- 認知症対応型通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 定期巡回・随時対応訪問介護看護
- 複合型サービス
- その他⇒具体的に(_____)

次へ >>

4ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  17%

★問A-5.

介護サービス従事経験年数について、年数を入力してください。(数値記入)

※「3年4か月」のような場合は、切り上げて「4年」としてください。

※従事経験のない方は「0」と入力してください。

年

次へ >>

5ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  20%

★問A-6.
現在管理されている対象サービス事業所の介護職員数について常勤・非常勤それぞれについて人数を入力してください。
(それぞれ数値記入)

ヨコに回答→	人数
常勤	名
非常勤	名

次へ >>

6ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  24%

B. 貴事業所の介護職員の職業能力評価、教育訓練の状況について、お伺いします。

★問B-1.
貴事業所では、評価基準を用いて、介護職員の職業能力評価(※)を行っていますか。
1年前と現在の状況について、該当するものを1つ選んでください。(それぞれ1つつ選択)

1年前の状況 (平成25年1月時点)	現在の状況 (平成26年1月時点)
<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 実施していた<input type="radio"/> 実施していなかった<input type="radio"/> わからない	<ul style="list-style-type: none"><input type="radio"/> 実施している<input type="radio"/> 実施していない<input type="radio"/> わからない

※介護職員の職業能力評価：
ここでは、介護職員に必要な技能など職業能力の評価のうち、法人や事業所で独自に作成した評価基準や、業界団体等で作成した評価基準、既存の各種資格に基づいて評価が行われているものをさします。

次へ >>

7ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  27%

【B-1の「現在の状況」で(実施していない)とお答えいただいた方にお聞きします。】

★問B-1-1.
介護職員の職業能力評価における今後の見通しについて、該当するものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 実施する予定
- 実施したいが未定
- 実施しない方針
- わからない

次へ >>

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  31%

★問B-2.
介護職員の職業能力評価にあたり、職員の介護技術(※)の評価を行っていますか。
1年前と現在の状況について、該当するものを1つ選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

1年前の状況 (平成25年1月時点)	現在の状況 (平成26年1月時点)
<ul style="list-style-type: none"> ● 実施していた ● 実施していなかった ● わからない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施している ● 実施していない ● わからない

※職員の介護技術：介護現場で実際に仕事ができる、実践的なスキルを指します。

次へ >>

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  34%

【B-2の「現在の状況」で(実施している)とお答えいただいた方にお伺いします。】

★問B-2-1.
職員の介護技術の評価の際、利用している評価方法について、該当するものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 事業所内で作った独自評価方法
- 業界団体や、他の事業所で作られた評価方法
- 書籍・文献を参考にした評価方法
- 「介護キャリア段位制度」に基づく評価方法
- わからない

次へ >>

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  37%

【B-2の「現在の状況」で(実施していない)とお答えいただいた方にお伺いします。】

★問B-2-2.

職員の介護技術の評価における今後の見通しについて、該当するものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 実施する予定
- 実施したいが未定
- 実施しない方針
- わからない

次へ >>

11ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  41%

【B-2-2の「今後の見通し」で(実施する予定)または(実施したいが未定)とお答えいただいた方にお伺いします。】

★問B-2-3.

職員の介護技術の評価を、予定しているあるいは実施したいと考えている評価方法について、該当するものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 事業所内で作る独自評価方法
- 業界団体や、他の事業所で作られた評価方法
- 書籍・文献を参考にした評価方法
- 「介護キャリア段位制度」に基づく評価方法
- わからない

次へ >>

12ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  44%

★問B-3.

貴事業所では、介護職員の介護技術の標準化ははかられていると思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

※平成26年1月時点の状況でお答えください。

- 十分に標準化がはかられている
- 比較的標準化ははかられている
- ややバラツキがみられる
- 非常にバラツキがみられる
- わからない

次へ >>

13ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  48%

★問B-4.
貴事業所における介護職員の教育訓練、OJT(※1)、Off-JT(※2)の実施状況について、
常勤職員・非常勤職員それぞれにつき、あてはまるものを1つ選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

※平成26年1月時点の状況でお答えください。

ヨコに回答→	常勤職員対象			非常勤職員対象		
	実施している	実施していない	わからない	実施している	実施していない	わからない
OJT(※1)の実施	<input type="radio"/>					
Off-JT(※2)の実施	<input type="radio"/>					

※1: OJT (On the Job Training) : 日常の業務につきながら行われる教育訓練。職場での仕事の経験を通じた職業訓練をさします。

※2: Off-JT (Off the Job Training) : 職場での仕事を離れての教育訓練をさします。

次へ >>

14ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  51%

★問B-5.
貴事業所における介護職員の教育訓練の方法の重視度合いについて、
常勤職員・非常勤職員それぞれにつき、あてはまるものを1つ選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

※平成26年1月時点の状況でお答えください。

ヨコに回答→	常勤職員対象			非常勤職員対象		
	重視している	重視していない	わからない	重視している	重視していない	わからない
OJTについて	<input type="radio"/>					
Off-JTについて	<input type="radio"/>					

次へ >>

15ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  55%

【問B-4において、OJTを「実施している」とお答えいただいた方にお伺いします。】

★問B-6.

貴事業所における介護職員のOJT実施状況について、それぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

※平成26年1月時点の状況でお答えください。

ヨコに回答→	はい	いいえ	わからない
OJTには、組織的に取り組んでいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
OJT指導者の選任方法には、決まりがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
OJT実施対象の選定には、決まりがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
OJTの際に、日常的に使用しているツール(シートやマニュアル等)がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
計画的なOJT(※)の仕組みがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
現在取り組んでいるOJTは、職員を育成する上で、効果があると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※計画的なOJT:

「日常の業務に就きながら行われる教育訓練のことをいい、教育訓練に関する計画書を作成するなどして教育担当者、対象者、期間、内容などを具体的に定めて、段階的・継続的に教育訓練を実施することをいう。例えば、教育訓練計画に基づき、ライン長などが教育訓練担当者として作業方法等について部下に指導することなどが、これに含まれる。」(厚生労働省「能力開発基本調査」より)

次へ >>

16ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  58%

★問B-7.

介護職員のOJTの実施に関して、現在直面している課題や問題はありますか。

※平成26年1月時点の状況でお答えください。

次へ >>

17ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  62%

C.介護キャリア段位制度への関心及び取組状況についてお伺いします。

※平成26年1月現在の状況をご記入ください。

★問C-1.
介護キャリア段位制度をご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 内容まで理解している
- 制度があることは知っている
- 知らない

次へ >>

18ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  65%

【C-1の「介護キャリア段位制度の理解」で(内容まで理解している)(制度があることは知っている)とお答えいただいた方にお伺いします。】

★問C-1-1.
以下の項目の認知度についてそれぞれあてはまるものを1つずつ選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

ヨコに回答→	知っている	知らない
制度の導入の背景や目的、意義について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
制度全体の仕組みについて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
評価者(アセッサー)講習(受講要件、受講の手続き等)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
内部評価の進め方(手順)について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
評価基準及び満たすべき条件について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
被評価者選定、目標設定の仕方について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
「現認」、「記録の確認」、「ヒアリング」といった評価手法について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
重要とされる記録に関して「様式」や「記録の仕方」について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ >>

19ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  68%

★問C-2.
貴事業所では、介護職員に対して、介護キャリア段位制度についての情報を伝えていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 伝えている
- ある程度伝えている
- あまり伝えていない
- 全く伝えていない

次へ>>

20ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  72%

★問C-3.
介護キャリア段位制度の評価者(アセッサー)講習受講については、どのように決定しましたか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 法人の意向
- 管理者の意向
- 参加者本人の意向
- 他の職員からの推薦
- その他⇒具体的に()
- わからない

次へ>>

21ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  75%

★問C-4.
貴事業所における介護職員全体の介護キャリア段位制度への関心度について、どのように感じていますか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 関心が高い
- あまり関心がない
- 関心が高まる傾向にある
- わからない

次へ>>

22ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  79%

★問C-5.
介護キャリア段位制度の評価者(アセッサー)講習を受講した職員が戻られてから、この制度の取組についてどのようなことが行われましたか。
あてはまるものを全てお選びください。(複数選択可)

- 法人責任者、事業所管理者等への受講報告
- 他の介護職員への受講報告
- 事業所内における制度導入の是非の検討
- 制度導入のための現業務影響確認と業務検討
- 内部評価実施にあたって変更となる業務の周知
- 特に何も行ってない

次へ >>

23ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  82%

★問C-6.
介護キャリア段位制度の評価者(アセッサー)講習受講について、今後の他の職員の受講方針として、あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 今後とも継続的に受講させたい
- とりあえず、今回の受講だけで継続は考えていない
- 事業所の運営にメリットがあると判断できれば、あらかじめ受講させる予定である
- 今後、受講させるつもりはない
- わからない

次へ >>

24ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  86%

★問C-7.
介護キャリア段位制度の利点について、該当するものすべてを選んでください。(複数選択可)

- 介護職員の介護技術(実践的スキル)の向上に役立つ
- 介護職員の教育訓練のOJTツールとして活用できる
- 職員の採用時や人事考課の判断基準として活用できる
- 事業所のサービス水準をアピールできる
- 介護職員のやりがいの向上につながる
- その他⇒具体的に()
- わからない

次へ >>

25ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  89%

D. 介護キャリア段位制度導入上の課題についてお伺いします。

★問D-1.

貴事業所において、介護キャリア段位制度における介護技術の評価を導入するにあたり、課題となる(もしくは、課題となった)事項はありますか。
あてはまるものすべて選んでください。(複数選択可)

- 介護職員への制度の啓発普及・取り組みに向けた意識改革
- 法人内の全ての事業所の意思統一
- 介護行為に関するマニュアルの見直し
- 介護記録の標準化
- 記録様式の見直しが必要
- OJT方法の見直しが必要
- その他⇒具体的に()
- 特にない

次へ >>

26ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  93%

★問D-2.

貴事業所において、介護キャリア段位制度を導入するためには、現行の人事評価(評価の仕組み)について何らかの形で変更する必要がありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。(1つ選択)

- 変更する必要がある(または必要があった)
- 変更する必要があると思うが、変更する予定はない
- 変更する必要はない

次へ >>

27ページ

介護職員の介護技術に関する事業所管理者アンケート

進行状況:  96%

★問D-3.

介護キャリア段位制度における介護技術の評価を導入するにあたって、必要となる支援策(制度面での支援・各種ツール)はありますか。

次へ >>

28ページ